

## 7. だんご虫の好きな食べ物～食感調べてどうしょっかん？～

湖西市立岡崎小学校

### 1 目的

だんご虫の好きな食感があるかを調べる

### 2 動機

今までの実験で、けっこうだんご虫は何でも食べた。しかし、食べないものもあった。だからだんご虫にも好き嫌いがあることがわかった。

お母さんとスーパーへ買い物に行った時に「食感」を表す言葉が食品についていることに気付いた。人間と同じように、だんご虫の好き嫌いには、「味」「食感」「におい」「見た目」「音」などが関係していると思う。去年は「味」について調べた。今回は「食感」について調べてみたいと思った。

味などの影響を少なくするため、同じ食材を同じ大きさにして使う。そして、調理方法を生、ゆでる、揚げると変えることにより、「シャキシャキ」「パサパサ」「パリパリ」と食感だけを変えて実験したい。

### 3 予想

「シャキシャキ」「パサパサ」「パリパリ」の食感の中では、「パリパリ」が 1 番目に好きだと思う。なぜなら、だんご虫は、自然の中では枯れ葉を食べていて、枯れ葉は手でわったりすると、「パリパリ」というからだ。私もフランスのパリが大好き。

だんご虫が 2 番目に好きな食感は、「シャキシャキ」だと思う。前にやった研究では、だんご虫が一番食べた食材は、きゅうりだった。きゅうりは食べると「シャキシャキ」というから。

「パサパサ」の食感はだんご虫はあまり好きではないと思う。私も口がかわいてしまって食べにくいので、あまり好きじゃないから。

### 4 実験

#### (1) 準備するもの

- ・虫かご ・きりふき ・カップ ・型ぬき ・デジカメ ・キッチンペーパー
- ・だんご虫・・・アパートの水道メーターや親せきの家などでだんご虫をつかまえる。
- ・選んだ食材（じゃがいも、さつまいも、かぼちゃ）・本（食材について調べる）

#### (2) 方法

- ① 選んだ 3 種類のえさが同じ大きさになるように型ぬきでぬき、それぞれ生のまま、ゆでたもの、揚げたものにして準備する。
- ② それぞれを自分で実食し、食感を確認する。
- ③ カップを 9 個用意する。
- ④ カップのそこに丸く切り取ったキッチンペーパーを両面テープではり付ける。

- ⑤ カップにえさを入れる。
- ⑥ 1 時間後、2 時間後、3 時間後に写真を取り、えさを食べているだんご虫を数える。
- ⑦ 同じえさでくり返し 5 回実験する。
- ⑧ だんご虫の食べたえさから、好きなものの順位をつける

## 5 結果

### (1) 食感について（本で調べる）

#### ア 食感を表す言葉

- ①のど越し・・・ 飲みものや食べものののどを通っていく感じ。スムーズにのどを通るそうめんはのど越しがよい。
- ②歯ごたえ・・・ かんだ時、歯に感じる抵抗感。硬めのものや弾力のあるものには「歯ごたえ」がある。
- ③歯触り・・・ かんだ時の歯に当たる感触。「歯ごたえ」より軽い感じ。「さくさくとした歯触り」などという。
- ④舌触り・・・ 「とろけるような舌触り」「ざらざらした舌触り」のように、食べ物が舌に触る感じを表す。
- ⑤口当たり・・・ 歯も舌も含めた口全体の感覚。「口当たりの良い。フルーティなワイン」などと使う。

#### イ 言葉のくり返しでおいしさを伝える表現

- ①パリパリ・・・ 語感からして歯切れのよい「パリパリ」。
- ②モチモチ・・・ もちのように粘り気をおび、歯ごたえがあるということ。
- ③プリプリ・・・ かむとはね返すほど弾力がある食べものに対して使う。「プリッとした」という表現もある。
- ④コリコリ・・・ 軟骨など「コリコリ」とした歯ごたえが魅力。かたさや弾力を楽しみ味わう言葉。

### (2) 自分で実食した結果

#### ア シャキシヤキ（生）

じゃがいもが一番シャキシヤキしていた。次がさつまいも、かぼちゃの順だった。

#### イ パサパサ（ゆでる）

じゃがいもが一番パサパサしていた。次がさつまいも、かぼちゃの順だった。

また、生、ゆでる、揚げるの中で、ゆでたものが一番甘く感じた。

#### ウ パリパリ（揚げる）

じゃがいもが一番パリパリしていた。次がさつまいも、かぼちゃの順だった。

ポテトチップスのようで、パリパリしていてとてもおいしい。

### (3) だんご虫が食べた結果（5 回のくり返し実験による）

もっとも食べたのが、じゃがいも（生）27 匹、2 位がじゃがいも（ゆで）26 匹、3 位がさつまいも 25 匹（ゆで）、4 位がかぼちゃ（ゆで）22 匹、5 位がかぼちゃ（生）19 匹、以下、さつまいも（生）15 匹、さつまいも（揚げ）13 匹、じゃがいも（揚げ）10 匹、かぼちゃ（揚げ）7 匹の順だった。揚げたものはどれも人気がなかった。だんご虫もダイエット中かな。

これらの結果を食感ごとにまとめると、1位が「パサパサ」で73匹、2位が「シャキシヤキ」61匹、3位が「パリパリ」30匹であった。

## 6 考察

- だんご虫は選んだ9種類のえさを全部食べた。しかし、一昨年の663匹、昨年の330匹に比べて今年は164匹と少ない。今年は気温が29～32℃と暑かった。だから、だんご虫も食欲がでなかったのかもしれない。そんなところは人間と似ているのかもしれない。
- 自分で実食したら、じゃがいも（生）の「シャキシヤキ」食感は粉っぽくてまずかった。だから、じゃがいも（生）が1位になるとは思わなかった。そのことから、人間の好みとだんご虫の好みは同じではないことが分かった。
- 食感では、「パサパサ」が1位となった。実食した時、「パサパサ」は食べにくかったの  
で人気はないだろうと思っていた。だが、ゆでると甘味が増しているように感じた。つまり、「パサパサ」が1位となったのは、だんご虫は甘いのが好きだということではないだろうか。
- だんご虫の好きな食感「パリパリ」でなく、「パサパサ」だ。枯れ葉と同じ食感の「パリパリ」が1番人気になるかと思っていたのだが、そうではなかった。このことから、だんご虫が枯れ葉を好むのは「食感」ではない。先にも言ったように、甘味のあるものを好んでいるとしたら、「味」なのではないか。そう考えると、虫かごでだんご虫をかつていた時、えさとしてあげた枯れ葉で、よく食べる枯れ葉と食べない枯れ葉があったのは、「食感」よりも「味」の好みのせいだったのかもしれない。

## 7 まとめ

だんご虫の好きな食感「パサパサ」であった。また、だんご虫の好き嫌いには、「食感」よりも「味」のほうが影響している。つまり、だんご虫は「食感」よりも「味」に好みがあることが分かった。そして、人間と同じで気温が低いほうが食欲が出ることも分かった。人間と同じようなところがあるだんご虫。だから、親しみやすい。

## 8 反省と今後の課題

- カップの在庫がなく、そろえるのに時間がかかった。なので、これからは、早めに準備  
をすることを心がけたい。
- 写真を撮る時に近づきすぎて見にくくなってしまったものがあつた。これからは、撮り  
たいものがしっかり映っているか、画面を確認してから写真をとろうと思う。
- おなかに赤ちゃんのいるだんご虫を気付かずに実験に使ってしまった。実験中に生まれ  
なくてよかった。これからは、もっとしっかり確認して選ぼうと思う。
- 予想で述べたとおり、人間と同じように、だんご虫の好き嫌いには、「味」「食感」「にお  
い」「見た目」「音」などが関係していると思う。去年は「味」、今年は「食感」について調  
べた。そして、だんご虫の好き嫌いには、「食感」よりも「味」のほうが影響していること  
も分かった。ほかの「におい」「見た目」「音」なども関係があるのだろうか。今後、それも  
調べてみたい。

## 9 参考文献

・クッキング前に知っておきたい「料理のことば」 小松 むつ子

2012年 7月4日 発行